

平成31年度



# 白川小だより

第11号

令和2年1月29日(水)

## 地域と連携したカリキュラムの編成 ～学習発表会を行いました～

校長 奥村 哲也

1月25日(土)に町民会館で学習発表会を行いました。子ども達は、これまでの練習の成果を発揮し、精一杯大きな声で堂々と発表することができました。保護者、地域の皆様の応援、ありがとうございました。

町民会館での学習発表会は、今年度で21回目となりました。以前は小学校体育館で行っていましたが、「表現する力をより高めたい」と、平成11年度からグロリアホールのステージでの発表となりました。

普段の生活において、グロリアホールのような大きなステージに立つ機会はほとんどないと思います。それだけに、たくさんの観客の前で、スポットライトを浴びながら台詞を話したり、歌を歌ったり、踊ったりするという経験は、子ども達にとって大変貴重なものになりました。人前で話すことが苦手だった子も、勇気を出してやりきりました。



さて、今年4月から「小学校新学習指導要領」が全面実施となります。今回の改訂のポイントの一つに「カリキュラム・マネジメントの確立」があります。「カリキュラム・マネジメント」とは、「教育内容や時間の適切な配分、必要な人的・物的体制の確保、実施状況に基づく改善などを通して、学習の効果の最大化を図ること」です。

その具体の一つに「教育活動に必要な人や物との効果的な連携」が挙げられており、その点からみると、グロリアホールでの学習発表会は地域の物的資源と有効に結びついた活動といえます。また、地域の人や物と連携した教育活動ということでは、白川特産のお茶を通じた活動、サツマイモや枝豆などの栽培活動、老人会や保育園との交流、文化遺産を巡る遠足など多くの活動があります。本校では、学習指導要領の改訂を待つまでもなく、地域と結びついたカリキュラムが位置づけられ、脈々と引き継がれてきました。こうしたカリキュラムが伝統として息づいているのは、地域の方々の学校教育への理解と協力があるからに他なりません。地域の皆様に改めて感謝申し上げます。

また、地域の人や物と連携した教育活動ということでは、白川特産のお茶を通じた活動、サツマイモや枝豆などの栽培活動、老人会や保育園との交流、文化遺産を巡る遠足など多くの活動があります。本校では、学習指導要領の改訂を待つまでもなく、地域と結びついたカリキュラムが位置づけられ、脈々と引き継がれてきました。こうしたカリキュラムが伝統として息づいているのは、地域の方々の学校教育への理解と協力があるからに他なりません。地域の皆様に改めて感謝申し上げます。

年度末を迎え、次年度のカリキュラムを構想する時期となっています。4月からは「新白川小学校」となりますが、これまでの伝統を引き継ぎ、地域の人や物と結びついたカリキュラムが編成できることを願っています。今後ご協力をお願いします。